

大阪府作業療法ジャーナル 投稿規定

(2013.5.14付)

1. 本誌の目的について

大阪府作業療法士会会員が相互に研鑽し、発展していくための学術誌として発行します。

2. 投稿内容

作業療法の学術的発展に寄与する論文として、「論考」「総説」「研究論文」「実践報告」「短報」(以下、論文)の投稿を随時受け付けます。ただし、他誌に発表された論文または投稿中の論文はお断りします。

3. 倫理的事項について

論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行なう義務があります。編集部門は、必要に応じてこれらの事項に関する証明を投稿者にお問い合わせすることがあります。投稿論文では、対象者・実施施設の同意を得た旨、倫理面に配慮したことを本文中にご明記ください。なお倫理審査を得ている場合は、承認番号を記載してください。

4. 著者について

筆頭著者は原則として大阪府作業療法士会会員に限ります。共著者は府士会員でなくてもかまいませんが、作業療法士である場合は府士会員であることを条件とします。なお、著者の数は5名までとし、それ以上にわたる場合は、理由を記した書面を機関誌編集部門に提出して、例外的採否の判断を仰ぎ、その指示に従ってください。

5. 論文の種目と長さについて 基準は以下の通りです。

- 1) 論考：国内外の作業療法および関連する医療・保健・福祉の動向、政策、時流など適宜にあった話題に関する分析の総括的解説および提言をいう。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせて16,000字(40字×40行×10枚)以内とする。図・表は1点500文字相当とカウントし、分量は仕上がり総文字数の半分以下とする。
- 2) 総説：作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。論文の長さ、図・表は1)に準じる。
- 3) 研究論文：実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述。論文の長さ、図・表は1)に準じる。
- 4) 実践報告：特色ある作業療法実践(事例報告を含む)に焦点を当てた報告。治療手段としての活動、道具(自助具、遊具、生活用具)、情報、アイデアの紹介を含む。論文の長さは1)に準じる。
- 5) 短報：独創性のある所見や見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。後に「研究論文」として書くことが期待される。論文の長さは本文、文献、図・表合わせて8,000字(40字×40行×5枚)以内とする。図・表は1)に準じる。
なお所定の枚数を超過した論文について、編集部門で超過を認めた場合はこの限りではありません。

6. 執筆要領

後出の「執筆要領」に従ってください。

7. 採否について

原稿の採否は機関誌編集部門において決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがあります。また、機関誌編集部門の責任において、多少の字句の訂正をすることがあります。

8. 校正について

著者校正は原則として1回とします。校正は赤で行い、期間内に返送してください。

9. 掲載について

投稿論文の掲載は、完成稿入稿の日付順とします。

10. 投稿の手続き

1) 表紙を作成して下さい。表紙には、論文タイトル・筆頭著者名(ふりがな)・所属・共著者名(ふりがな)・所属、筆頭著者の連絡先(氏名・所属・所属先の電話番号・協会番号・メールアドレス)を必ず記載して下さい。また要旨、キーワード(協会のキーワード集に記載しているもの)を3つ記載して下さい。

2) 執筆形式の確認：後出の執筆要領に沿っていることを確認してください。

3) 原稿の部数：計3部(2部は複写で可)提出してください。提出された原稿、図表はお返ししませんのでご了承ください。

4) 原稿(表紙・本文・図表)を保存したCD-Rを1枚提出してください。なお、写真以外の図・表はExcelなど汎用性の高いソフトで作成し、JPEG・PDFなどの画像ファイル形式での保存は避けてください。

5) 送付先：下記宛に郵送してください。表書きに必ず「投稿原稿在中」と朱書きしてください。

〒540-0004 大阪府中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル6階

(一社)大阪府作業療法士会 機関誌編集部門

Tel : 06-6765-3375 Fax : 06-6765-3376

E-mail : jimmu@osaka-ot.jp

投稿原稿一執筆要領

(2013.5.14付)

1. 書式

原則としてワープロソフト (Word) を使用し、英数字は半角、カタカナは全角、横書きとする。フォント、余白などの書式規定はありません。

2. 論文は、表題、要旨、本文、文献、図・表からなるものとします。

3. 表紙となる原稿1枚目は次の順番で書いてください。

- 1) 論文種目 (論考、総説、研究論文、実践報告、短報など)
- 2) 表題
- 3) 筆頭著者および共著者全員 (原則5名まで) の氏名 (ふりがな) ・所属
- 4) 連絡先: 筆頭著者の氏名・所属・所属先の電話番号・協会番号・メールアドレス
- 5) キーワード (3つ以内)、著者が作業療法士である場合は、日本作業療法協会ホームページの学術部機関誌編集部門が掲載するキーワード集より記載する。
- 6) 300字程度の要旨を添えること。

4. 論文の本文は、原則として、まえがき、方法、結果、考察、結語が明らかになるように書いてください。また原稿にはページ番号を付けてください。表紙とは別ページから開始して下さい。

5. 文章表現は以下の点に留意してください。

- 1) 現代仮名づかい、数字は算用数字、単位はSI単位 (例: m, cm, kgなど) を用いる。
- 2) 外国語名 (地名・人名など) は原則として原語を用いる。
- 3) 略語を用いる場合は以下の通りとする。例) 日常生活活動 (以下、ADL)、Functional Independence Measure (以下、FIM)
- 4) 小見出しをつける場合は、1. 2. 3. …、1) 2) 3) …、① ② ③ …の順に使用する。

6. 引用・転載について

論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行なうときには、その出典を明記してください (本文中の引用箇所に引用文献番号を振ってください)。

例) 作業療法は……である¹⁾

また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。

7. 文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列してください。文献の形式は下記を参照してください。引用文献の著者氏名が4名以上の場合は、最初の3名を記載し、他は「・他」または「et al.」とする。

〈書籍の場合〉 著者名: 書籍名. 発行所, 発行場所, 発行年, 引用頁.

- 1) 中村隆一, 齊藤 宏: 基礎運動学 第3版. 医歯薬出版, 東京, 1987, pp.406-413.
- 2) Fidler, G.S.: Design of rehabilitation services in psychiatric hospital settings. Am Occup Ther Assoc Inc, Maryland, USA. 1984, pp10-21.

〈雑誌の場合〉 執筆者名：題名. 雑誌名 巻：頁(始めの頁-終わりの頁), 発行年.

- 3) 吉田光爾, 田川精二, 伊藤純一郎・他：就労における精神障害の開示状況の実態 - (社)大阪精神科診療所協会地域精神保健委員会「就労調査アンケート」の結果から - 精神障害とリハビリテーション 11(1)：66-76, 2007.
- 4) Cook, S., Chambers, E., Coleman, J.H.: Occupational therapy for people with psychotic conditions in community settings : a pilot randomized controlled trial. Clin Rehabil 23 : 40-52, 2009.
- 5) Tom Burns, Jocelyn Catty, Sarah White, et al.: The Impact of Supported Employment and Working on Clinical and Social Functioning. Results of an International Study of Individual Placement and Support. Schizophr Bull 35: 949-958, 2009.

〈電子文献の場合〉 著者：引用文献名. 入手先 URL (閲覧日)

- 6) 厚生労働省報道発表資料：2008年1月18日 身体障害者、知的障害者及び精神障害者就業実態調査の調査結果について. <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/01/h0118-2.html> (閲覧日 2011年11月8日)

8. 図・表は次の点に留意してください。

- 1) 図・表は白黒でそのまま製版できるものとする。また、写真は図として扱う。写真はカラーより白黒が良い。
- 2) 図・表はすべて表題をつけ、本文とは別に最後のページに、1ページに1点で印刷して添付する。
- 3) 本文中に図・表の挿入場所を明記する。
- 4) 引用・転載の図・表はそれぞれ出典を明記する。
- 5) 顔・身体の写った写真を掲載する場合は、必ずご本人、およびご家族の了承を得る。加えて、その旨を本文中に記載する。

【挿入箇所記載例】 随意運動には、以下のプロセスが必要である (図1)。

【表参考例】

表1 1回目の BACS-J の実験群とコントロール群の得点比較

	実験群 (平均値±標準偏差)	コントロール群 (平均値±標準偏差)	P-value
記憶	64.71 ± 5.66	62.47 ± 8.09	0.44
WM	24.00 ± 3.49	25.00 ± 2.80	0.39
運動	92.43 ± 8.64	91.33 ± 7.81	0.56
言語	49.93 ± 12.91	53.20 ± 13.70	0.88
注意	82.93 ± 12.69	84.00 ± 12.48	0.62
遂行	19.29 ± 0.91	19.00 ± 1.07	0.51
合計	333.29 ± 29.67	335.00 ± 23.59	0.84

【図参考例】

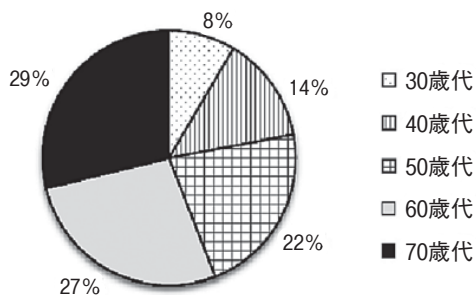


図1 年齢別割合

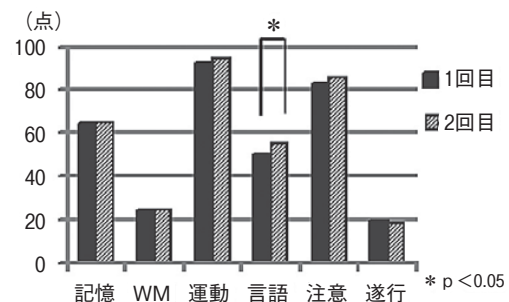


図2 実験群の BACS-J の1回目と2回目の得点比較 * p < 0.05

投稿論文チェックシート

原稿を送る前に、このページをコピーして下記項目に不備がないかご自身でチェックしてください。チェックが行われたことを確認するために、原稿とともに送付してください。

- 表題はありますか？
- 要旨はありますか？
- キーワードはありますか？
- 種目はどれに当てはまりますか？
(論考・総説・研究論文・実践報告・短報・その他)
- 原稿枚数は投稿規定・執筆要領に準じていますか？
- 写真・図・表の枚数は投稿規定・執筆要領に準じていますか？
- 論文は3部同封していますか？
- CD-Rは同封していますか？

- | | |
|--------|--|
| ① 論 考 | 国内外の作業療法および関連する医療・保健・福祉の動向、政策、潮流など時宜に適った話題に関する分析の総括的解説および提言。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせて400字詰原稿用紙32枚(仕上がり10頁以内)とし、図・表は1枚1点で10枚以内、1枚は仕上がり1/4頁相当の大きさとする。 |
| ② 総 説 | 作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。論文の長さ、図・表は①に準じる。 |
| ③ 研究論文 | 実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述。論文の長さ、図・表は①に準じる。 |
| ④ 実践報告 | 特色ある作業療法実践(事例報告を含む)に焦点を当てた報告。治療手段としての活動、道具(自助具、遊具、生活道具)、情報、アイデアの紹介。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせて400字詰原稿用紙16枚(仕上がり6頁)以内とする。図・表は①に準じる。 |
| ⑤ 短 報 | 独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。後に詳しい「研究論文」として書くことが期待される。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせて400字詰原稿用紙8枚(仕上がり4頁)以内とする。図・表はそれぞれ1枚1点以内とし、大きさは①に準じる。 |